

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 8 年 5 月 26 日



豊中ロータリークラブ

第 3076 例会

第 2670 号

よいことのために
手を取り合おう

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2025~26 年度

国際ロータリー会長

フランチェスコ・アレツォ

(イタリア、ラゲーザ RC)

Rotary



Toyonaka

2025.7~2026.6

会 長 松本 悟

副 会 長 矢口正登

幹 事 藤田充男

雑誌・広報・会報委員長
都井正剛

本日 (5 月 26 日) のプログラム

「見えない子どもたち (ネグレクトを受ける子どもたちの現状と大人ができること)」

豊中市子ども支援ボランティア団体・Quest

代表 加藤夏海 様

卓話担当: 岩本洋子



次回 (6 月 2 日) のプログラム

「日本の風景」

豊中 RC 会長: 松本 悟

会長の時間

「先週の会」

2025-26 年度 会長 松本 悟

先日は、池田トータリークラブ様と合同例会を開催いたしました。ご出席くださった会員の皆様、お疲れ様でした。慣れない会で戸惑うばかりでしたが、先方様との連絡、会の段取りなどは藤田幹事がすべて行って下さり、併せて皆様のご協力で、会をスムーズに進められたかと感じています。ありがとうございました。

例会では、林原会長からの挨拶について、私から「会長の時間」として、豊中ロータリークラブの活動内容などを紹介させて頂きました。卓話では、全日空・大阪支店長の松井規代様が、全日空の歴史、伊丹空港とのかかわり等、とても興味深い話を聞かせて頂きました。

例会後は、例会場所の近くの「かごの屋」で懇親会がありました。とても楽しく賑やかな会で、「このロータリークラブの親子関係の絆を続けてゆこう」、「合同例会を楽しみにしていたよ!」、「恒例行事にしてゆこう!」といった言葉をかけて頂きました。

先週末には会長・幹事会が行われました。今期の締めくくりと次期の始まりとなる会で、私から当クラブの一年間の活動をご報告させて頂きました。また、武枝会長エレクトからは「つなぐ力で未来へ」をテーマに、70周年へ向けて歩みを進めてゆきたいとの抱負を語って下さりました。この会は、参加するたびに、他クラブの活気や活発な取り組みに触れ、大いに刺激を受けるとともに、圧倒される思いがありました。

今期も残すところあとわずかとなりましたが、もうひと頑張りしていきたいと思えます。皆さまにも引き続きご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

事務局・例会場: 〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイポリー内

TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時: 毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局: 9 時~15 時(土日祝を除く)

H P ア ド レ ス: <https://toyonaka-rc.jp>

メー ル ア ド レ ス: jtrc2660@sun-inet.or.jp

☆出席報告☆

	第3075回	第3073回
例会日	5月20日	4月12日
① 会員数 A	27	27
(内出席免除者)	6	6
② 出席義務者数	21	21
③ 出席義務者出席数	8	12
④ 出席免除者出席数	1	3
⑤ メイクアップ数		3
⑥ 出席義務者欠席数	13	9
出席率 %	40.90%	75.00%

出席率(3075回) ③+④/②+④ 出席率(3073回) ③+④+⑤/②+④

☞幹事報告1☞

- ・国際ロータリー第2660地区より
「2025-26年度「意義ある奉仕賞」「奉仕部門功労者賞」の申請について」が届きました。
「【2026-27年度】次年度に関する資料」が届きました。
- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より
「ハイライトよねやま 314」が届きました。
- ・大阪梅田 RC より
「2025-26年度 IM 第1組 会長・幹事ゴルフ会のお礼」が届きました。
「第4回 IM 第1組会長・幹事会 議事録」が届きました。
- ・豊中市都市基盤部交通政策課 交通安全係より
「交通事故をなくす運動」豊中市推進協議会総会の開催の案内」が届きました。
- ・豊中市都市活力部魅力文化創造課(姉妹都市担当)より
「令和8年度豊中・サンマテオ姉妹都市協会総会の議案書」が届きました。

☞ 掲 示 板 ☞

- ・第12回定例理事会・第7回被選理事会開催
日 時：2026年6月2日(火)
場 所：ホテルアイボリー1F かやの間
- ・卓話“一年を振り返って”
職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕各委員長
日 時：2026年6月9日(火) 例会時
場 所：ホテルアイボリー1F かやの間
※新旧クラブ協議会があります
- ・創立記念日例会
日 時：2026年6月20日(土) 18:00~
場 所：豊中商工会議所 大会議室
- ・卓話“一年を振り返って”
会長・副会長・幹事
日 時：2026年6月9日(火) 例会時
場 所：ホテルアイボリー1F かやの間
※ニコニコクイズがあります

☺5月20日のニコニコ☺

- ・池田 RC 様との合同例会を祝して
村司、米田、矢口、横田、武枝、眞下
岩本、松本、藤田各会員

🌸池田 RC 様との合同例会🌸

2026年5月10日(水)池田商工会議所にて池田 RC 様との合同例会がありました。ご参加の皆様有難うございました。

会長 松本 悟 幹事 藤田充男

※合同例会事の卓話原稿が届き次第、写真と共に週報で紹介させていただきます。

🎵本日の唱歌🎵

豊中ロータリークラブの歌

作詞：田中嘉介 作曲：川澄健一

奉仕の理想にむすばれし
我ら豊中ロータリアン
家族ともどもほがらかに
こころ楽しくむつみ合い
結ぶともがき いやかたく
とわにさかえん とわにさかえん
輝く 豊中ロータリー

唱歌担当 武枝敏之

○お知らせ○

- ・次回の例会は、6月2日(火)です。皆様のご出席、宜しくお願い致します。定例理事会、被選理事会もごぞいます。

「大学発ベンチャー — 痛みの見える化を目指した取り組みの光と影」

卓話者：大阪大学 情報科学研究科 中江 文 様

担当者：眞下 節



眞下節会員 中江文様

結論

大学発ベンチャーとは、研究者が会社をつくるのではなく、大学に眠る未完成の知を、社会で使える形に翻訳する仕組みである。

講演者の歩み

- ・ 麻酔科医として臨床現場(手術室・集中治療・救急)を経験
- ・ 2004年 大阪大学へ復帰、2008年 慢性痛の研究で学位
- ・ 2016年 PaMeLa 株式会社を創業、2023年 取締役退任。現在は研究の側から再び「痛みの見える化」に取り組む

なぜ「痛みの見える化」か

血圧・体温・血糖は測れるが、痛みは本人の言葉にしか頼れない。子ども・認知症の方・意識のない方・動物は言語化できず、同じ刺激でも感じ方は人により大きく異なる。研究では熱刺激下の主観評価と自律神経反応を同時計測。主観と生体反応のずれは測定誤差ではなく、その人のレジリエンスや脆弱性を映している可能性がある。現在は動物の痛み評価にも展開し、創薬への貢献を目指す。

大学発ベンチャー — 数字と独特の難しさ

- ・ 経産省調査では大学発ベンチャーは5,074社(2024年10月、過去最高)。社会実装の主要経路へ
- ・ 研究者の言語(新規性・メカニズム)と事業の言語(誰が買うか・誰が責任を持つか)は違う
- ・ 大学の時間軸(数年で論文)と市場の時間軸(資金が尽きれば終わり)は違う
- ・ 医療系は薬機法・QMS・臨床評価・保険・製造販売体制が必須。良い技術だけでは社会に届かない

起業を経験してよかったこと

薬機法と保険制度、モノづくり・R&Dのプロセス、QMS、医療機器製造販売業としての心構え — 手術室の中だけでは絶対に見えなかった世界。医療は善意だけでは社会実装されない。制度・事業・品質が必要だと知ったことが最大の財産。

影の部分 — 構造的に生じるもの

研究・知財・資金・人・契約・ガバナンスが一気に絡む。お金が大きくなると人間関係も変わり、「誰が意思決定し、誰がリスクを負い、誰が責任を取り、誰の貢献をどう評価するか」が曖昧なまま進むと必ず後で苦しくなる。

これから挑む方への三つの教訓

- ・ ① 法律を軽く見ない — 知財・株式・責任範囲・意思決定権限は最初に明文化
- ・ ② ファイナンスを理解する — 研究費(成果のための資金)と投資(リターンを求める資金)は別物
- ・ ③ プロジェクトマネジメントを軽く見ない — 個人の頑張りだけでは会社は前に進まない

ロータリークラブの皆様へ

大学発ベンチャーに必要なのは研究者だけではない。製造・品質管理・営業・契約実務・人を育てる経験・地域のネットワーク — これらは大学の中だけでは得られない。豊中・北摂・大阪で長く事業を続けてこられた皆様は、大学の知を社会に届けるための「翻訳者」であり「伴走者」です。

結びに

痛みは見えない。だからこそ、見えるようにする努力が必要。大学の知も、そのままでは社会から見えにくい。だからこそ、社会に届く形に翻訳する努力が必要である。

— ご清聴ありがとうございました —